

◆ 各区だより ◆

千種区



継続は力なり

田代学区にある単位クラブ「西寿会」の活動を紹介します。

◎会報発行

当クラブ一番の特徴は会報を毎月発行していることで、すでに190号になりました。行事予定や、身近な情報提供、会員からの投稿参加もあり、仲間づくりの一助となっております。

◎サロン活動

毎月1回実施。健康などの身近な共通の話題で盛り上げります。また、年に数回講師を招いたミニ講演会も実施しています。

がえって眼前に！今から楽しみです。



◎グラウンド・ゴルフ

地域の公園で毎週実施している人気イベントです。

◎食事会

先日、今年の干支をまつる西区の伊奴神社での参拝を兼ねて開催しました。高齢者は普段の会話があまりありませんが、大勢での食事は楽しく話も弾み、懇親が図れました。

◎クラブ活性に向けての課題

会員の平均年齢が80歳以上となり、行事に参加しなくても出かけるのが大変だとか、体が不自由という声が増えてきました。どう対応するのか、また、前期高齢者の加入促進を図るためにはどうすればよいのか：なかなか解決策が見つかりません。(玉井 康雄)



◎散策会

最近では、解体間近な「名古屋城」に出かけました。鉄筋コンクリート造りで再建されて早60年だそうです。5年後には木造の本来の姿がよみ



シニアスポーツ
リーダー研修会・
カローリング大会

東区老連では、6月19日にスポーツリーダーがカローリング講習会・大会を実施しました。まずは午前中にスポーツリーダーがカローリングの競技方法と得点の数え方などを自分たちで実習し、午後、各学区の参加者にルールを教えながら楽しんでもらうという趣向です。



ルールで、石ではなくボールベアリングのついた「ジエットローラー」を使い、氷上ではなく床の上で行えるよう考案されたゲームで、天候に左右されず、体力もいらず誰でも楽しめます。ゲームに参加した会員は投げたローラーの行先に一喜一憂し歓声を上げて楽しんでいました。

研修会ではありませんが、成績上位3チームは賞品を手に入れてうれしそうでした。約10日後の6月30日に市老連世代間スポーツ大会で、子どもたちと一緒にカローリング競技を実施しましたので、東区の研修会ではその練習戦のようになりました。市老連の大会の結果は第4位と、まずまずの結果でした。(前野 実)

今回初めてカローリングを体験するという人もおり、ジエットローラーの投げ方に四苦八苦しながら相手チームのローラーをはじき出そうと慎重に狙いを定め、目つきは真剣そのものです。カローリングは、冬季オリンピックでもくもぐタイムや笑顔の「そだねー」で話題になった氷の上で行うカローリングとほぼ同じ

